

令和3年第52回 グループホームまみや地域運営推進会議 議事録

会議日時	令和3年 3月 26 日 金曜日 時間 13:30 ~14:30						
場所	法人所有アンシャンテ1階						
議題	1、グループホームまみやの現状報告			2、ヒヤリハット、事故報告			
	3、アンケート等についての説明			4、その他			
出席者	ご家族 名		地域住民代表 1名	市町村職員 1名		町議会議員 1名	
	民生委員 1名	区長 1名	職員 3名				
ご利用者の状況	1 ユニット						合計
	男性 1名	平均年齢 96.0歳		男性 1名			
	女性 8名	平均年齢 88.9歳		女性 8名			
				年齢 89.7歳			
介護区分の分布	要支援2 0名	要介護1 1	要介護2 3名	要介護3 0名	要介護4 5名	要介護5 0名	平均介護度 3.1
<p>1.【入居状況等】 現在満室です。</p> <p>2.【ヒヤリハット報告】 10件 別紙参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5本指の手袋を2重にして対応している件について、ご本人が顔等にかき傷をつくらぬ為の対策です。(ご家族の同意済みです。)</li> <li>・携帯酸素に付いて、4名の使用者がいます。本体から携帯酸素に換える時に酸素ポンベの弁の開き忘れ等のミスがあります。酸素を使用しているにもかかわらず口呼吸してしまうかたもいて、マスク式のカニューレを使用している方もいます。</li> </ul> <p>【事故報告】1件</p> <p>歩行難者、昼食後リビングルームより居室に戻られる際手摺りを掴み損ねてお尻より床に落ちられ仰臥位になられる。</p> <p>改善策・・・居室以外の移動は職員が付きそう様にする。靴のかかとを踏んで歩行されているので、ご本人とご家族に話し、新しい靴を購入して頂き、かかとを踏まない様に履いていただく。</p> <p>3. アンケート等に付いての説明 (グループホーム介護支援専門員・管理者・職員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設見学に付いて ワクチン接種が進み緊急事態宣言が解除され沈静化するまでしばらくご協力ください。</li> <li>・コロナワクチン接種に付いて 私たちがまだ確かな事が判らず心配している所です。函南町の説明会に参加していますが、医師会でも把握が出来ていない様です。</li> <li>・コロナワクチン感染予防対策に付いて うがい、手洗いマスク三密の注意。席の間にアクリル板を設置するなど基本的な対応の他、肺炎の有無を見る為血中酸素濃度を測定する。日に2回体温を計る。血圧を朝測り健康管理をしています。室温が大切で湿度計を見て加湿器を使用しています。</li> <li>・グループホームの事業内容に付いて 介護保険法で地域密着型認知症対応型共同生活介護事務所の指定施設です。保険者は市町村になります。家庭に出来るだけ近い環境で過ごして頂くことがグループホームの目的です。1フロア9人と言う少ない人数の中で共同生活しています。地域におけるグループホームの役割として今後は、地域の方との関わりを持ち、介護のよろず相談(仮称)を設立して行く運びです。</li> <li>・近隣住民の方の相談窓口開設に付いて 新聞報道での宣伝は営利目的の宣伝とされ禁止されている。この点は存在を知ってもらうために、地域の方にも助けてもらいたい。現在、介護保険等の相談の窓口を設けたいと考えている。相談窓口では介護方法や技術の相談も承ります。幼稚園・学生等との接点も設け、介護現場に反映して行きたいと思えます。</li> <li>・AED(自動体外式除細動器)に付いて 富南の各施設に1台ずつ設置されている。使い方が判らなくてもレクチャー出来ます。公民館・病院・学校、大手の会社などにも設置されています。富南グループ全事業所に設置してありますので、地域の方々にも役立てて、頂きたい。</li> </ul>							

<ご意見・質疑応答等>

・グループホームに入居する事により認知症の改善は出来ますか

家庭にいと孤立している人が多いので、皆で生活していると刺激が有り改善される事もあります。リハビリやリクリエーションも有効です。又逆に環境の変化等で、極端に認知症が進む方もおります。

・コロナ化ですが、京都の祇園祭も疫病対策で始まったそうですとのお話しをしてもらいました

・防災訓練は行っていますか

年2回法的に義務受けられており行っております。

・施設職員のケアはどうなっていますか

産業医の先生により講習等を受けています。

・認知症の方への接し方を教えて下さい

認知症にも色々な病気が有るので一概には言えませんが、高齢者は視界が狭いので正面から話し掛ける特に特にレビー小体型の人は振り返った時に転ぶ事も有る。理解するのに時間が掛かるのでゆっくり対応する道で出会った時は正面に立ちゆっくり話をし名前等を聞くようにする。徘徊を止める事は中々難しいので、地域の方の協力が必要です。

・地域との連携や関わり・周知をどうしたら良くなるか

まみやの周りは都会より孤立は無さそうです。横のつながりが都会より出来やすいように思えます。広報誌を見ると介護保険等の情報も多い。まだ知らない人も多いので周知していく事が必要ではないでしょうか。

介護の世界をどう見えていますか？

・私も介護保険が出来てすぐに利用させてもらいました。ありがたかったです。(参加者)

・今は外部の方との接触も制限されていて大変だと思う。(参加者)

4.【その他】

新期につき、間宮区役員さんが変更されます。

ボランティア団体代表で運営推進会議に出席していただいた方が解散の為、次回からは住民代表として運営推進会議に出席して下さいます。

次回予定

令和3年5月27日(金) 時間 13:30～